

○将来都市構造について

【将来都市構造とは】 三郷市総合計画の基本構想に位置づけられる「将来の都市の姿」

- 将来都市構造は、将来都市像やまちづくりの目標の達成を目指して、市域全体の特徴や骨格を空間的かつ概念的に表し、目指すべき将来の都市の姿を分かりやすく描いたものです。

【拠点とは】 「人にも企業にも選ばれる魅力的なまち」の方針に沿った、様々な都市機能を持った地域

- 「商業・業務機能」、「生活サービス機能」、「交流機能」、「産業機能」などの都市機能を持った地域を形成し、市民が住み・働き・学び・楽しみやすい場所となる土地利用の魅力づけを持たせながら、市民生活や都市活動、産業活動の中心となる機能を担う地区を「拠点」として位置づけ、バランスのとれた都市構造の構築を図ります。
※拠点には、鉄道駅やインターチェンジ周辺、幹線道路沿道など人や物が行き交う中心となる地区で、前述のような都市機能を集約するにふさわしい都市基盤の整備がされた、または今後行う予定のある地区を位置づけています。

人にも選ばれる

都市交流拠点 三郷中央駅周辺
 地域拠点 三郷駅周辺
 地域拠点 新三郷駅周辺
 地域拠点 三郷IC周辺（北）
 地域拠点 三郷南IC周辺

【地域拠点とは】

- 「商業・業務機能」、「生活サービス機能」、「交流機能」の都市機能を持った生活系の地域。
- このうち、市の顔として相応しい又は市の業務機能を集積する地域を「都市交流拠点」とする。

企業にも選ばれる

産業拠点 三郷IC周辺（南）
 産業拠点 三郷吉川線沿道
 産業拠点 三郷料金所スマートIC周辺
 産業振興地区 三郷流山線沿道
 新和吉川線沿道
 草加三郷線沿道

【産業拠点とは】

- 「産業機能」の都市機能を持った産業系の地域。

【産業振興地区とは】 「まちづくりは道づくり」の施策に沿った、道路整備と土地利用を連動させる地区

- ネットワーク軸に位置づけた路線のうち、都市計画道路の整備が完了していない一部の区域を、都市計画道路整備と面的な土地利用計画との連動性を重視する地区として、「産業振興地区」と位置づけます。
- 本市の産業が持続的なものとなり、さらなる活力向上に資するべく、物流施設を始めとする工業機能、道の駅やターミナルなどの交通機能、都市型農業の振興を図る農業生産機能など、ネットワーク軸の確立と併せ、新たな拠点の候補となるような土地利用を誘導します。

【防災減災核とは】 「災害に強いまちづくり」の施策に沿った、市民の生命と暮らしを守る活動を発信する地点

- 防災減災意識の高揚や備蓄品の充実など防災力の向上を図るため、災害に強いまちづくりを推進する場所として「防災減災核」を位置づけます。

【レクリエーション核とは】 「スポーツのまちづくり、元気な地域づくり」の施策に沿った、にぎわいを創出する地点

- スポーツを通じた健康増進、観光やイベント等を活用したにぎわいの創出など、人が集う場所、情報を発信する場所として「レクリエーション核」を位置づけます。

【ネットワーク軸とは】 「拠点」「核」を結ぶ社会基盤整備として必要不可欠な道路ネットワーク

- 拠点間及び拠点と周辺都市を結ぶ本市の骨格となる道路とその沿道について、都市に魅力と活力を与え、市内外の活発な交流を促進する連続的な空間を形成する「ネットワーク軸」として位置づけます。

【水と緑の骨格軸とは】 水辺・緑空間の保全・整備・活用による広域ネットワーク形成の重要基盤

- 本市の自然的基盤をなす、うるおいや安らぎを与える水辺空間の保全・整備・活用による重要なオープンスペースを「水と緑の骨格軸」として位置づけます。